

令和2年度 認知症対応型共同生活介護 グループホーム たんぽぽ 事業計画

1、法人基本理念

「のんびり」 「一緒に」 「楽しみながら」

令和2年度施設テーマ

笑 顔

2、基本方針

入居者様お一人お一人が、ご自分のペースでゆったりと過ごして頂き、入居者様や職員そして施設にかかわる全ての方々と沢山の笑顔の時間を共有できる施設を目指します。

3、援助方針

- ・ 入居者様一人ひとりの生活リズムにあわせ、ゆったりとした毎日が過ごしていただける施設を目指します
- ・ 御家族や近所の方・職員等 関わるすべての方々と協力しながら地域に開かれた施設を目指します
- ・ 入居者様の「楽しい」「嬉しい」と思える瞬間を大切にします
- ・ ケアにあたる職員自身も生き生きとした毎を送り、より良いケアが出来る様に心がけます

4、令和2年度の重点目標

職員の身心の健康維持・向上

- ・ 業務だけではなく、プライベート充実の為にも話しやすい環境作りを行ないます
- ・ ドリームマイスターの実施により、仕事への楽しさややりがいを持てる様にします
- ・ 各職員が健康的な生活が送れるように心がけます
- ・ 職員1人1人の個性を活かし、更なる個の向上が出来る環境を作ります

家族様や地域の方との信頼関係の強化

- ・ 入居者様の様子や変化をきちんとお伝えし、家族様と共に入居者様にとってより良いケアが行なえる様に努めます
- ・ 地域行事への参加や実習生の受入れ、家族様への施設行事参加の案内を行なっていきます
- ・ 運営推進会議になるべく多くの方に参加していただける様に開催内容を検討していきます

5、 支援内容

(1) 入居者様への援助

① ケアプランの作成とケアの統一

- ・ 入居者様個人のケアカンファレンスを定期的を開催します
- ・ 作成したケアプランに基づき、入居者様個々の目標や解決すべき課題を職員が共有し、統一したケアを行ないます
- ・ 入居者様の状態の変化に合わせ、臨機応変にプランを見直し変更を行ないます

② 『自立支援』を念頭においた援助

- ・ 入居者様の身体機能維持の為、ご本人の現存機能を活かし日常生活リハビリに取り組み機能維持が出来るよう支援します
- ・ 生活の中で入居者様の役割を見つけ、生活意欲の向上となる様支援します

③ 感染予防対策

- ・ 流行時の一時的な感染予防に留まらず、年間を通し感染予防に繋がる対策の実行を継続し施設内での感染拡大を防止すると共に予防に努めます

④ 緊急時対応の習得

- ・ 年1回救急救命講習を施設内で実施することにより、全職員が消防署の指導を受ける機会を設け、いざという時の対応に備えるようにします
- ・ 夜間等利用者の体調急変時への対応が全職員戸惑い無く行えるように、入居者様の基本情報や主治医、訪問看護の連絡先等周知します

⑤記録の充実

- ・ 介護計画書に基づいた記録や日常の様子が客観的記録となるようにします
- ・ 開示義務やかかわりの証拠となる事も踏まえ、的確で伝達性にすぐれた記録が出来るように努めます

⑥健康管理

- ・ 日々の健康管理はもとより、昨日との違いに気づき病気や体調の変化の早期発見により治療が遅れない様にします
- ・ 業務に支障を来たすことがないよう、職員1人ひとりが自己健康管理することに努めます

(2) 食事

- ① 自分で作ることの喜びを感じる事や過去を懐かしむ事が出来る様、手作りレクの時間を設け楽しく過ごせる時間を提供します
- ② 施設外に出て、自分の食べたい物を選んで食べる事が出来る様、外食の機会を設け利用者様の楽しみに繋がる様な時間を提供します
- ③ 御家族と一緒に食事できる時間を設け、利用者様の現状や施設の食事内容を知って頂きながら家族と楽しく過ごせる時間が提供できる機会を設けます

(3) 入居者様の生活の活性化

- ・ ユニットごとに職員1人ひとりが発想や経験を活かしながら毎日が楽しく過ごせる様に工夫した時間を提供します
- ・ 日常の家事活動により生活意欲の向上に繋がります
- ・ 入居者様の体調や意向の変化に気を付けて見守ります
- ・ 個々の生活リズムや意向に沿った過ごし方が出来る様に支援します

6、 防災計画

(1) 定期的な消防訓練の実施および消防設備の点検

- ① 自主訓練を含め、年間3回以上の訓練を行ないます
- ② 年1回救急救命訓練を行ないます
- ③ 巨大地震発生時の避難方法について、避難経路等の全員周知に努めます
- ④ 毎月、館内及び周辺の消防設備等の自主点検
- ⑤ 専門業者による定期的保守点検の実施（非常通報装置・火災報知機・スプリンクラー・その他の自動制御装置）
- ⑥ 夜間を想定した訓練を行ないます。

7、職員会議・委員会・職員研修 等について

(1) 会議

- ・ 毎月の会議時間を利用してサービス計画内容に基づいた支援の実施状況や問題点から、計画書の見直しを行い適切な支援が実施できるようにします
- ・ 施設の問題点や改善点等、働く一人ひとりが意見を出せる場所とし、みんなで考える働きやすい施設をめざします

(2) 委員会

① 環境美化委員会

- ・ 施設内外の美化に努め、安全・快適に過ごせるようにします
- ・ 季節を感じられる環境作りを行ないます
- ・ エアコンの掃除や施設周辺の草引き等季節を考慮し年間計画を作成します
- ・ 計画に基づき全スタッフへの周知を行い実施します
(委員は計画実施の進行を行い、掃除等の実施については全スタッフで行ないます)

② 満足度向上委員会

- ・ 入居様が楽しみを持った生活が送れる様、余暇時間の過ごし方の提案や家族・地域を交え地域への貢献や施設への理解が得られる様視野を拡げた行事計画を作成します
- ・ 計画に基づき全スタッフへの周知を行い実施します
- ・ 行事を行なう際は計画・報告書を提出します
- ・ 小規模の利点を活かし家庭での生活に近づけ、四季折々を感じられる生活出来る様にユニットごとに取り組みます
(実施については全スタッフ協力して行ないます)
- ・ 居室担当と協力しドリームマイスターを実施します
- ・ 接遇については、2019年度の研修を活かし、継続していきます

③ 研修担当

- ・ スタッフ研修会の年間計画を作成し実施します
- ・ 計画に基づき全スタッフへの周知を行い実施します
- ・ 研修実施時は、講師の依頼・参加者の把握・資料等のファイルを行ないます

④ 身体拘束適正化委員会

- ・ 職員のケア方法について改善点は無いか、常に気を配ります
- ・ 年 2 回の職員研修を研修委員と共に行ないます
- ・ 3 ヶ月に 1 回委員会を開催します
(対象者発生時には、臨時委員会を開催します)

⑤ 広報・アップ担当

- ・ ブログ Facebook Instagram に定期的にアップを行ないます
(内容については、細心の注意をはらうとともに、介護の仕事の素晴らしさ、法人やたんぽぽの良い所が伝わる内容にします)
- ・ たんぽぽ通信の作成を年 4 回行います

(3) 職員研修

- ① 福祉職員としての専門性を自覚すると共に、求められる良質のサービス提供が出来る様計画に基づき学習の機会を設け基本的姿勢や技術・心構え等を学び成長できるようにします
- ② 研修案内の掲示を行い研修の機会の拡大を図ります。社内外研修への参加により他施設職員との交流も可能となり職員の視野の拡大につなげます

令和2年度 グループホームたんぽぽ 研修計画

月	開催日	研修テーマ	講師
4	日：調整中 18：00～	DVD「認知症の第一人者が認知症になった」	たんぽぽ研修委員
5	20日 14：00 運営推進会議時	自主防災訓練	防火管理者：阪
6	日：調整中 18：00～	楽生による腰痛体操	楽生マッサージ
7	日：調整中 18：00～	SNS のリスクマネジメント	ブランド戦略リーダー 渡辺さん
8	日：調整中 18：00～	身体拘束	身体拘束適正化委員長 太田
9	16日 14：00 運営推進会議時	救急救命訓練	津市中消防署・ 阪
10	日：調整中 18：00～	感染症対策	検討中
11	18日 14：00 運営推進会議時	地震体験車	津市中消防署・ 阪
12	日：調整中 18：00～	身体拘束	外部講師依頼予定
1	日：調整中 18：00～	つおき薬局	つおき薬局薬剤師
2	日時：調整	「死」についての講話	慶蔵院
3	日時：調整	来年度の計画	各委員リーダー

